

いざという時、本当に助けとなるのは  
ご近所（助）の助け合いです。

平成 27 年 4 月 1 2 日  
せんげん支隊 情報・広報班

4 月を迎え、桜が満開になると同時に新しい年度がスタートしました。支隊の組織も皆様方のご協力での新しい体制が出来上がりました。今年度も、活動隊員、一般隊員の別にかかわらず、防災活動への積極的な参加をお願いいたします。なお、新しい組織表は本号の裏面に掲載しております。

### 1 3月の活動記録

- ① 3月14日（土） 第12回支隊長会議（新旧合同支隊長会議）
- ② 3月15日（日） 支隊便り第21号発行
- ③ 3月13日（金） 防火・消火班専門会議
- ④ 3月22日（日） 避難誘導班・救出救護班合同専門会議
- ⑤ 3月29日（日） 2015年度第1回支隊長会議  
第6回隊長・支隊長会議

### 2 4月の活動計画

- ① 4月12日（日） 第1回支隊長・班長会議 支隊便り第22号発行
- ② 4月18日（土） 第2回支隊長会議
- ③ 4月5日（日） 情報・広報班専門会議
- ④ 4月26日（日） 自主防災隊責任者全体会議（支隊長・班長出席）



### 3 大地震時の電気火災防止に感震ブレーカーの設置を

東日本大震災で出火原因が確認された110件の火災のうち、65%の71件は電気が原因だったと言われています。電気はガスや石油に比べ、安全だと考えられていますが、地震などの大きな災害発生時には火災の原因の1番となる危険性があります。政府は2015年度中に、民間の保安規定を改正し、首都圏などの住宅密集地の新築住宅には感震ブレーカーを設置するよう勧告する方針だと伝えられています。

既存の住宅に居住する私たちは、勧告は特にされませんが、火災が発生すれば必ず延焼の危険性があるので、自宅から絶対火を出さないという意識が大切です。大地震で停電した際には必ずブレーカーを落としましょう。

簡易型の感震ブレーカーを設置できるご家庭ではできるだけ設置することをお勧めします。（三和小川店で1,300円くらいで購入できます）配電盤の形状により簡易型を取り付けられないご家庭は、費用は少し高くなりますが電気店などに相談されるのもよいかと思います。

### 4 備蓄食品—ローリングストックの勧め

大地震への備えとして、食料・水の備蓄（最低1週間）への意識はかなり高くなっています。しかし、東日本大震災以後丸4年が過ぎ、次第に備蓄品への意識が薄らぎつつあるような気がします。（私だけかもしれませんが）1週間分の備蓄はあっても賞味期限の切れたものもかなりある、ということはありませんか。

食料・水は普段の生活で、食べたり飲んだりしているものになるべく近いものを、賞味期限に気を付けながら備蓄するのがコツです。1週間アルファ化米やビスケットばかりでは大変です。最近では、食品メーカー各社も、普段食べておいしく、賞味期限も長い缶詰やレトルト食品など（賞味期限3～5年）を販売しています。このような食品を、普段食べ、食べた分を買い足していく「ローリングストック」の考えで備蓄品の備えをしてはどうでしょうか。

日本災害食学会の奥田和子顧問は「被害が広域に及ぶと、食事への影響は3ヶ月は続く。いろいろな加工食品を組み合わせる備えてみては」と話しています。